

コンバージド・インフラストラクチャーの特性



デプロイメント

事前にパッケージ化された構成
またはアプライアンス、
リファレンス・アーキテクチャー
または、事前認証の設定
ガイドラインに従う



拡張方法

ユーザーは個々の
コンポーネントやブロックを
単一または複数の
ユニファイドシステム・ラックに
追加してコンバージド
リソースを拡張する。
コンポーネントは
バラバラのリソースのままでも
他の目的にも使用可能



利点

データセンター・デプロイメントを、
ほぼエラーなしで簡素化し、
迅速化する。
パフォーマンスと
リソース使用効率を
向上させる。
共通の管理インターフェース
を持ち、試行錯誤による
回り道をしなくて済む。
単一ベンダーのサービスと
サポート。



制約

統合化を仕切っているのは、
ベンダーであるにもかかわらず、
自社システムの管理と
ハードウェア費用は
ユーザーが負担。
ベンダーがCIボックスの
機能を更新することも
あるが、他製品に比べ
ペースが遅い。